

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	大分学生水フォーラム
主催者	大分大学、日本文理大学、別府大学、立命館アジア太平洋大学、 第1回アジア・太平洋水サミット大分県委員会
開催日	2007年12月 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日 <input checked="" type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	14:00～18:00
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	ビーコンプラザ フィルハーモニアホール
参加人数	620名

開催概要（900字以内）

県内4大学と第1回アジア・太平洋水サミット大分県委員会が共催で、大分県の若い世代による水環境への取り組みを広く発信するため、大分県とアジア・太平洋地域の水に関わる諸問題をテーマにシンポジウムを開催しました。

【第1部】

第1回アジア・太平洋水サミット開催記念講演会

・講師 野口 健 氏

アルピニスト、第1回アジア・太平洋水サミット運営委員

・演題 「第1回アジア・太平洋水サミット開催へ向けて

～ヒマラヤ山脈の流域国を訪ねて～」

【第2部】

学生水サミット ～学生から見た大分と世界の水事情～

大分大学、日本文理大学、別府大学、立命館アジア太平洋大学の学生が、県内の名水や沈み橋、田染荘と地域の関わり方、など、私たちに身近な大分の水環境からアジア・太平洋地域の水事情まで、研究成果を発表しました。



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

第1回アジア・太平洋水サミットの開催地である大分県では、成功裡におわったサミットを一過性のものにするのではなく、この学生水フォーラムのような新たな連携や、水に関する「知」の集積を図ろうとする動きが、サミットに関係した人々の間から生まれようとしています。

日本水フォーラムには、今後もそのような大分での活動に関心を持って頂き、ご指導、ご支援を頂けることを期待しています。

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

第1部は第1回アジア・太平洋水サミット開催記念としまして、アルピニストであり、今回のサミットの運営委員も務める野口健氏に、自らの経験に基づいた貴重な講演を頂きました。

第2部では、県内の大学に通う学生達による、日頃の水に関する研究成果の発表と、学生と教授による討論会を開催しました。この学生水フォーラムを通じて生まれた大学間の連携は、今後の大分での新たな水に関するネットワークの礎になるものと確信しています。

